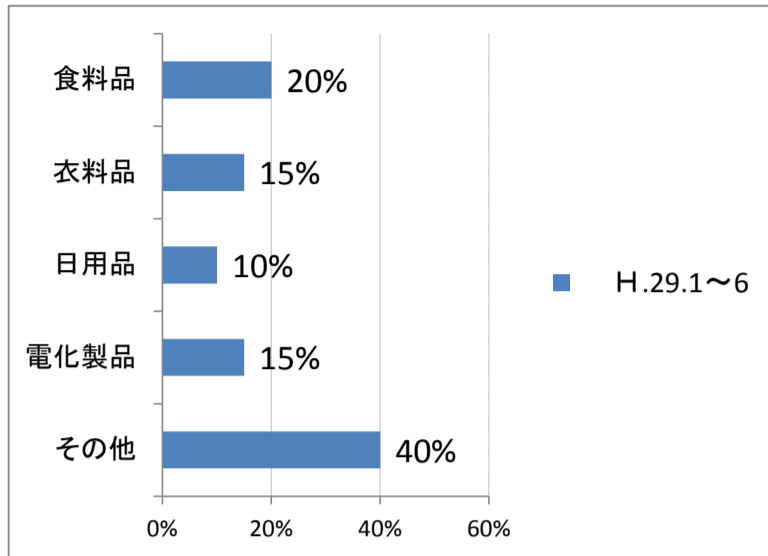


【平成29年7月実施 景況調査アンケート集計結果】

◆◆卸・小売業◆◆

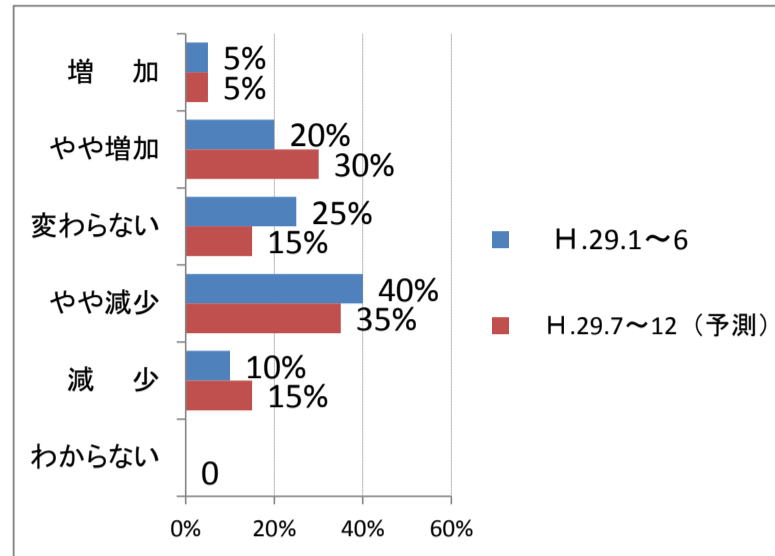
《集計結果》

【分類別】



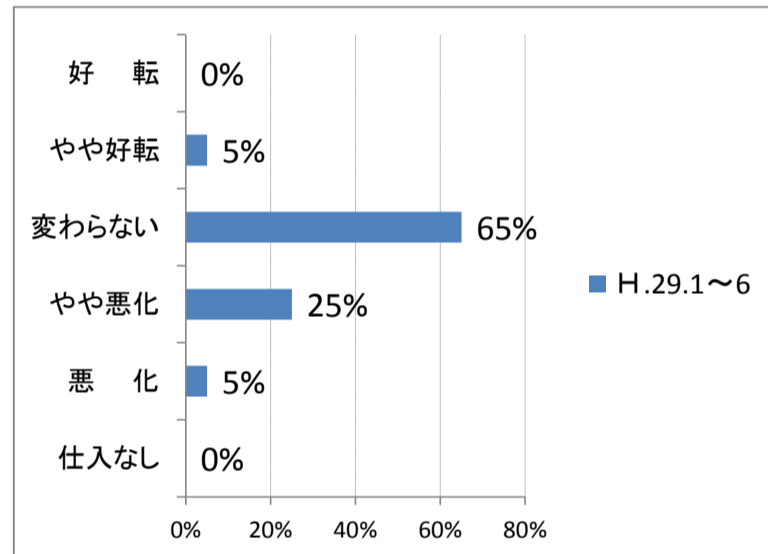
食料品20%、衣料品15%、日用品10%、電化製品15%、その他40%（ガソリンスタンド・薬局他）

【売上】



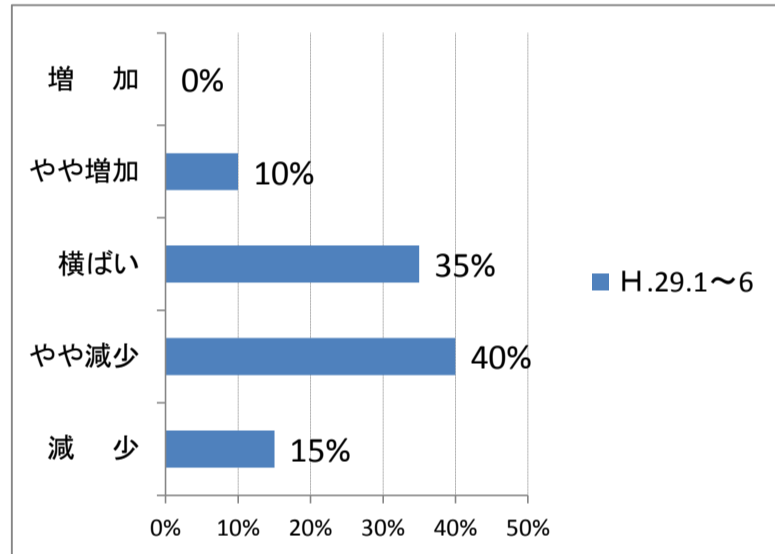
減少とやや減少が50%、増加とやや増加が25%という結果であった。25%の事業所が変わらないと回答している。

【仕入】



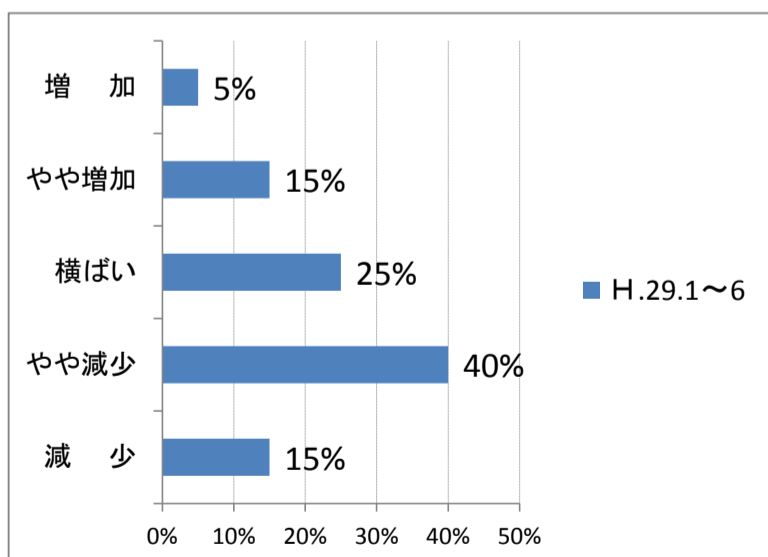
悪化とやや悪化が30%、やや好転が5%という結果であった。65%の事業所が変わらないと回答している。

【利益】



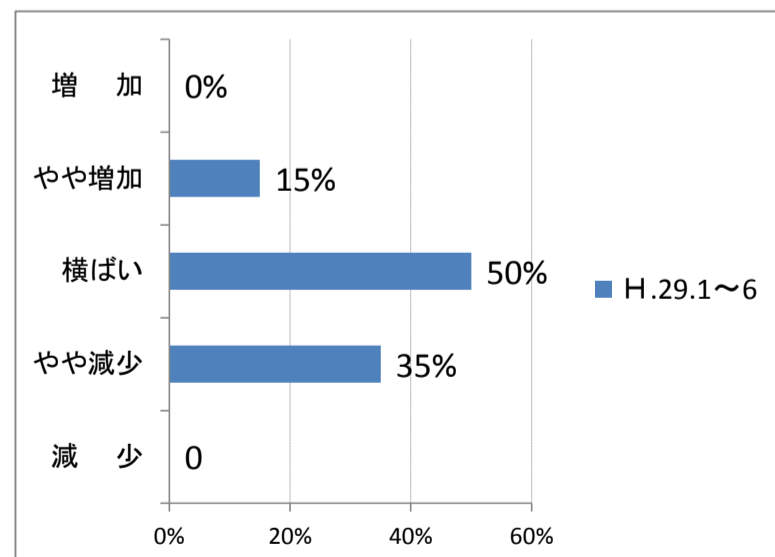
減少とやや減少が55%、やや増加が10%という結果であった。35%の事業所が横ばいと回答している。

【客数】



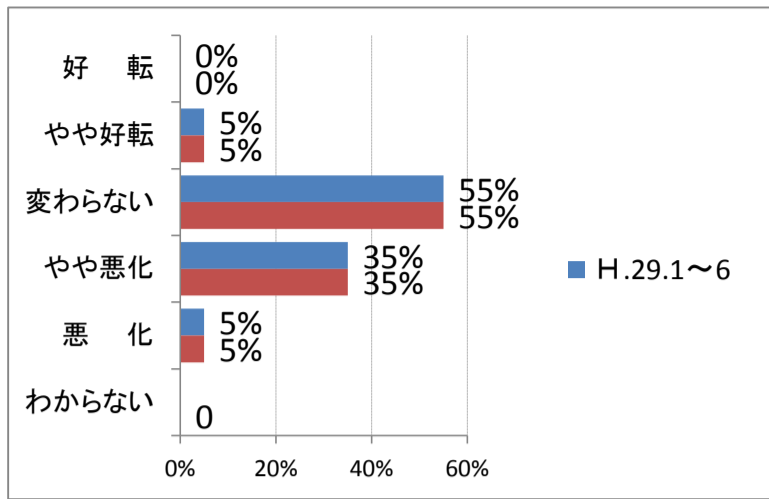
減少とやや減少が55%、増加とやや増加が20%という結果であった。25%の事業所が横ばいと回答している。

【客単価】



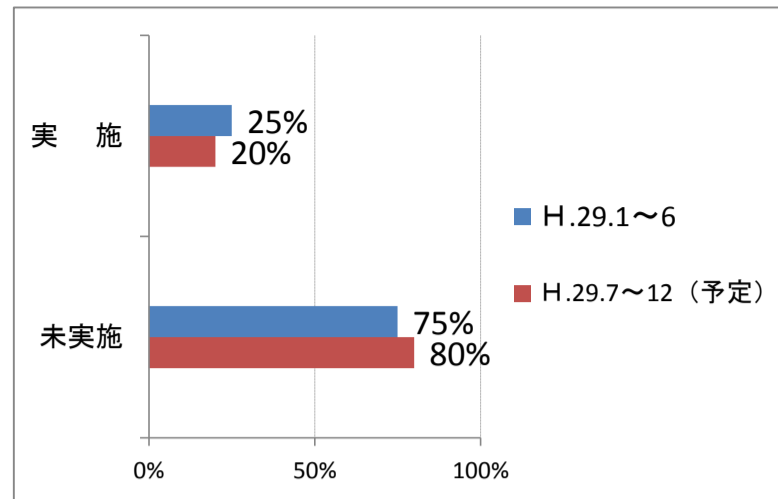
やや減少が35%、やや増加が15%という結果であった。50%の事業所が横ばいと回答している。

【資金繰り】



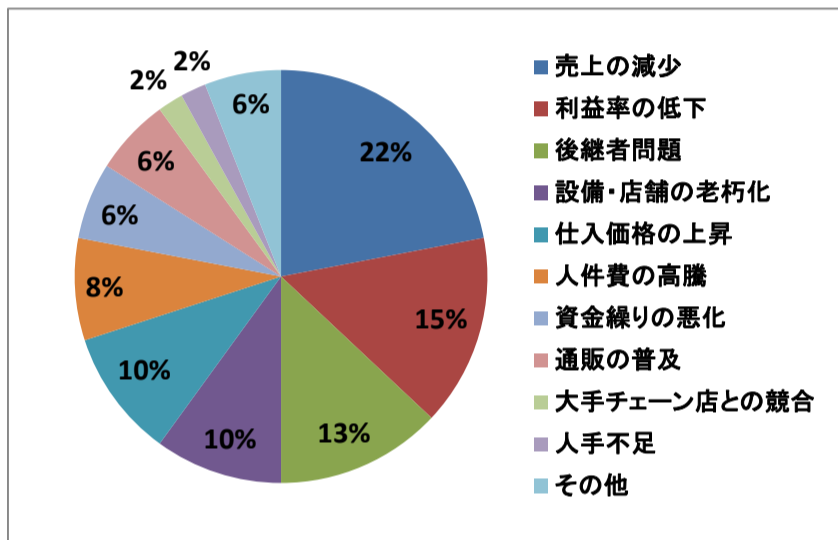
悪化とやや悪化が40%、やや好転が5%という結果であった。55%の事業所が変わらないと回答している。

【設備投資】



25%の事業所で設備投資を行っている。今後は事業所の20%が設備投資を予定している。

《経営課題》



売上の減少	利益率の低下	後継者問題	設備・店舗の老朽化
22%	15%	13%	10%
仕入価格の上昇	人件費の高騰	資金繰りの悪化	通販の普及
10%	8%	6%	6%
大手チェーン店との競合	人手不足	その他	
2%	2%	6%	

経営課題で一番多く挙げられたのが『売上の減少』で22%、次に『利益率の低下』15%、『後継者問題』13%という結果であった。